

MEDIA DATA

情報は鮮度。

“農”の現場に届く日本農業新聞。

INDEX

農業・JA・地域をつなぐ全国メディア … 2	広告メニュー2 Web 広告 …………… 12
JA 組合員 1,049万人の協同の力 …… 4	広告メニュー3 フレ マルシェ …… 13
注目高まる 農業・地方マーケット … 6	読者・広告主・広告代理店の声 …… 14
広告メニュー1 新聞広告 …………… 8	広告ナビゲートシート …………… 15



農業・JA・地域をつなぐ全国メディア

国内唯一で最大部数の日刊農業専門紙「日本農業新聞」を発行。

このほか、Yahoo!ニュースへの記事配信、農畜産物の価格指標を示す「netアグリ市況」の運営、JA農産物直売所情報誌「フレ マルシェ」の発行など多彩な事業を展開しています。

日本農業新聞のメディア群

日本農業新聞（日刊・宅配）

31万3,538部

※日本ABC協会レポート（2020年1～6月）平均販売部数

Web（公式サイト）

月間PV 100万515

※2020年1～11月の平均値。
Google Analyticsで計測。

JA直売所情報誌フレ マルシェ

約25万部（約690店舗）

取材網

全国

1,800人 JA通信員 29通信部
本所、7支所、2支局、1駐在

内閣記者会	霞クラブ
兜倶楽部	野党クラブ
環境問題研究会	文科省記者クラブ
国土政策研究会	厚生労働記者会
気象庁記者クラブ	金融記者クラブ（日銀クラブ）
経済産業省ベンクラブ	農協記者クラブ
つくば学園記者会	八日会（国会記者クラブ）
大田記者会	平河クラブ（自民党クラブ）
大阪本場記者室	財政クラブ
農政クラブ	など

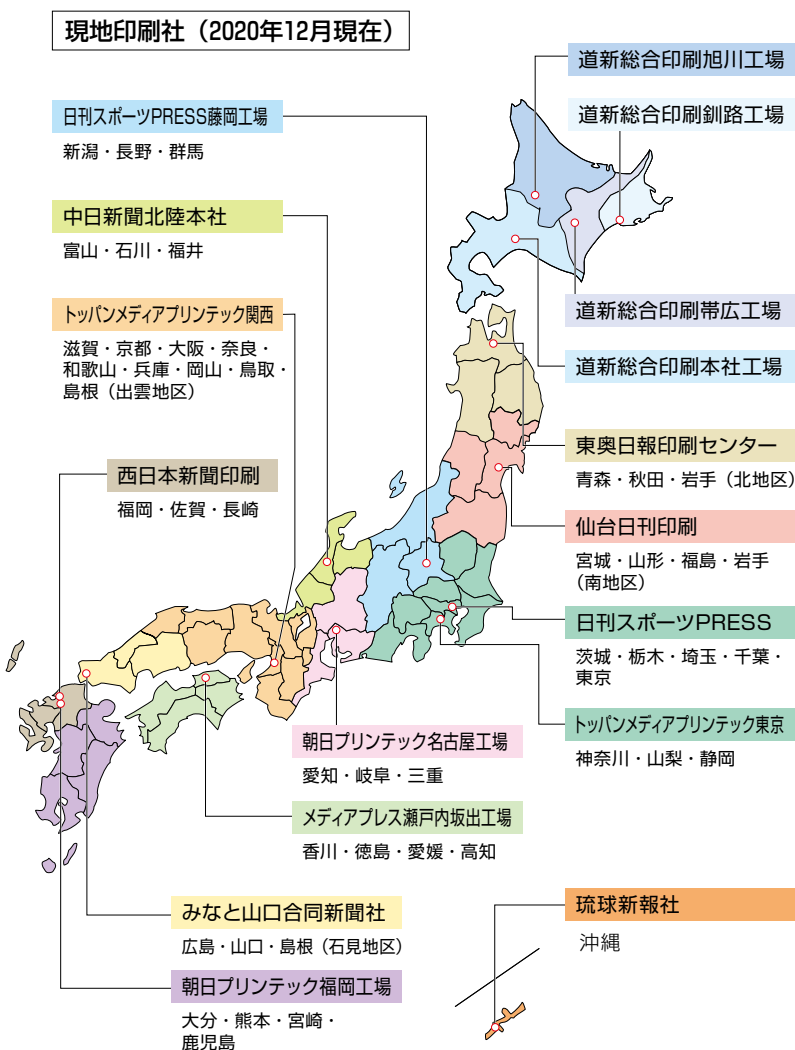
海外

特約通信員

米 国
フランス
スイス

特約通信社

米 国
韓 国
中 国



日本農業新聞 5つの強み

強み 1

信頼性

全国をカバーする取材網で、正確・豊富な話題を提供。

強み 2

専門性

国内唯一の日刊農業専門紙として業界のニュースを発信。

強み 3

先進性

JAの経営トップや生産部会長など地域のリーダー層が購読。

強み 4

地域性

全国紙でありながら、地域密着の身近な話題が盛りだくさん。

強み 5

組織力

組合員1,045万人を抱えるJAグループの情報受発信センター。

■ Yahoo!ニュースへの配信

日本農業新聞公式サイトに掲載する記事の一部を、ヤフー株式会社が運営する日本最大級のインターネットニュース配信サービス「Yahoo! ニュース」へ提供しています。

Yahoo!ニュース配信記事の当社Webアクセス数 トップ5
(集計期間：2014/4/1～2020/11/30)

	記事タイトル	掲載日	PV数
1	イチゴ品種 韓国に流出 損失5年で220億円	2017/6/20	2,769,898
2	和牛精液あわや国外へ 出国検査甘さ露呈	2018/11/26	2,183,395
3	もやし業界 窮状を訴え 度を越す特売	2017/3/17	1,701,221
4	「電気柵」と呼べぬ 自作品で安全策欠落	2015/7/24	1,615,213
5	サツマ「べにはるか」無断流通 韓国で拡大	2020/11/15	1,598,012

■ その他の事業

データベースサービス

地方版を含めて、日本農業新聞に掲載したほぼすべての記事の検索・閲覧ができます。

英字版ニュース「The Japan Agri News」

海外向けに英字版サイトを開設し、世界へニュースを発信しています。

あぐりフォトサービス

日本農業新聞に掲載した農作業や農村風景などの写真の検索・注文ができます。

■ netアグリ市況

青果（野菜・果実）、花、畜産、商品先物などの相場（市況）をまとめたサイトです。当社が独自に集計して示す取引指標「日農INDEX」を掲載しているほか、過去の相場検索もできます。



一村逸品大賞

日本農業新聞の人気コーナー「一村逸品」に載った商品から優れたものを表彰する「一村逸品大賞」を選出しています。

セミナーの開催

JAグループの役職員を対象に、広報のスキルアップのためのセミナーなどを開いています。

海外農業研修視察団

JA組員・役員らを対象に、世界の農業生産や流通などを視察・研修します。

各メディアとターゲットとの接点

担い手農家から消費者まで、ターゲットに的確にアプローチできる各種媒体をそろえています。

	農家 [担い手 家族農家]	JA [役員 職員]	消費者 [地域住民]
日本農業新聞	←	→	→
Web (公式サイト)	←	→	→
フレ マルシェ			←

data

日本農業新聞の沿革

- 1928年 日本農業新聞の前身「市況通報」を発行
- 1937年 「市況通報」を「日本農業新聞」に改題
- 1948年 全国新聞情報農業協同組合連合会（JA新聞連）を設立「日本農業新聞」の発行を継承
- 1949年 日本新聞協会に加入
- 1978年 日本農業新聞の発行を全国日刊に拡大
- 1991年 発刊1万号・全国55万部達成
- 2002年 (株)日本農業新聞を設立、JA新聞連から事業移管
- 2005年 JA農畜産物直売所情報誌「フレ」創刊
- 2010年 農畜産物市況情報サイト「netアグリ市況」を開設
- 2013年 英字版ニュース「The Japan Agri News」創刊
- 2018年 創刊90周年を迎える
- 2019年 発刊2万号達成
- 2020年 日本農業新聞 本社ビル竣工

主要日刊紙（朝刊）の部数

順位	新聞名	部数	順位	新聞名	部数
1	読売新聞	7,705,178	14	河北新報	412,511
2	朝日新聞	5,160,355	15	京都新聞	407,584
3	毎日新聞	2,250,756	16	新潟日報	402,886
4	中日新聞	2,136,296	17	北國(富山)新聞	333,084
5	日本経済新聞	2,129,733	18	山陽新聞	331,656
6	産経新聞	1,329,094	19	日本農業新聞	313,547
7	北海道新聞	919,906	20	上毛新聞	286,129
8	静岡新聞	589,285	21	下野新聞	285,343
9	中国新聞	574,627	22	南日本新聞	262,479
10	西日本新聞	514,104	23	熊本日日新聞	260,534
11	神戸新聞	466,886	24	福島民報	237,625
12	信濃毎日新聞	438,698	25	北日本新聞	219,452
13	東京新聞	422,593			

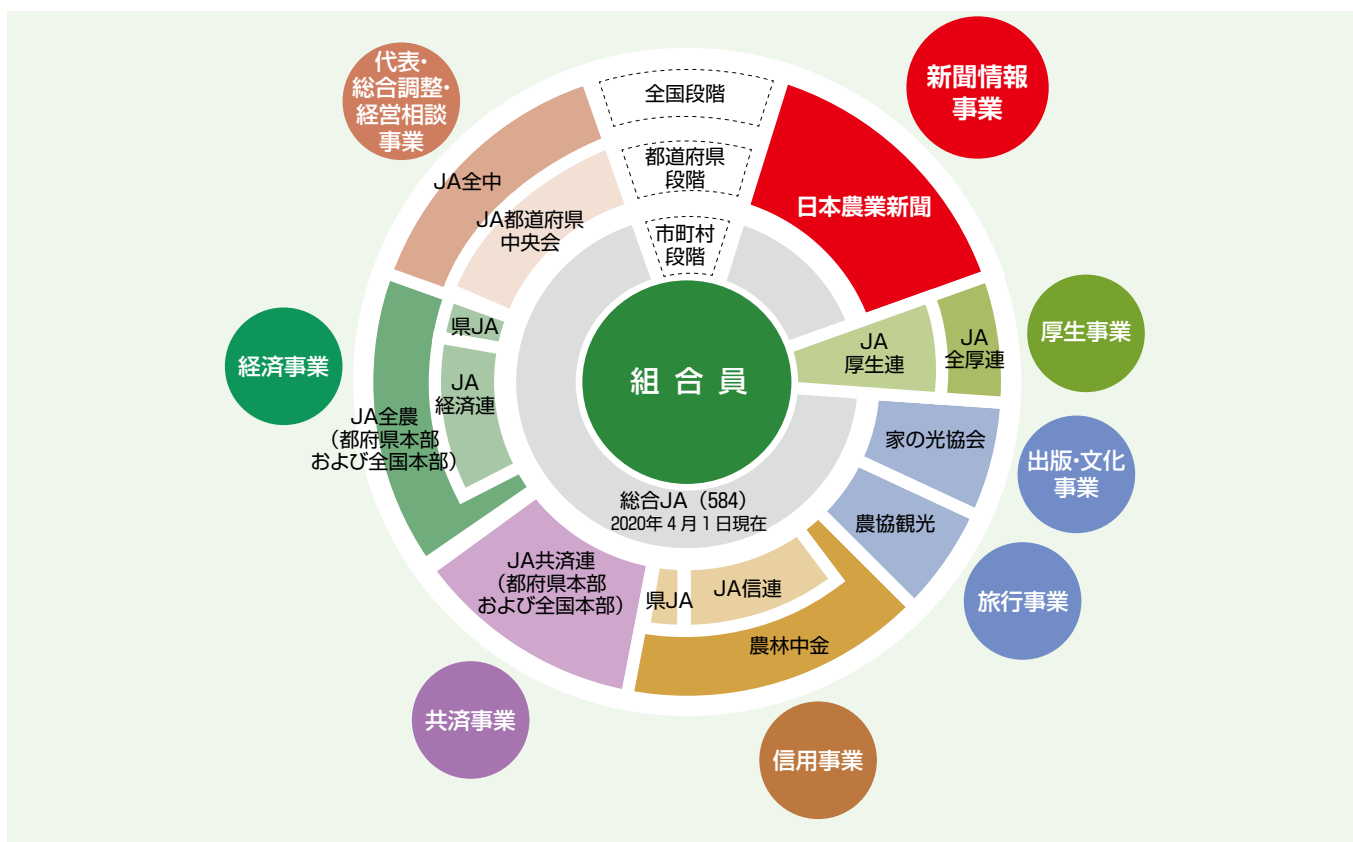
資料：日本ABC協会レポート（2020年1～6月）平均販売部数

JAグループの一員として農・食・地域を支える

JA組合員 1,049万人の協同の力

JAとは組合員を中心とした共同体である「農業協同組合」のこと。JAの組合員は全国で約1,049万人。約600のJAに加え、都道府県や全国段階の各事業（機能）の団体を合わせて「JAグループ」という大きなネットワークをつくっています。日本農業新聞もJAグループの一員です。

JAグループ組織図



JA組合員数の推移



資料：JA全中「JAファクトブック2020」、農水省「総合農協一斉調査」

JAグループの主な事業

代表・総合調整・経営相談事業

JAグループの代表として組合員の声を国政に届けるほか、JAグループの全体のかじ取り、他の協同組合との連携などを推進する役割があります。また営農・生活指導を通じて農業と暮らしの向上を支援します。

経済事業

販売事業と購買事業に大別されます。販売事業は組合員が生産した農畜産物をJAが集荷・販売する事業、購買事業は組合員に肥料・農薬・農機具や食品・日用雑貨などを供給する事業です。

信用事業

組合員らから貯金を預かり、それを原資に貸し出しを行う事業です。JA・JA信連・農林中央金庫で構成された「JAバンク」として各種サービスを提供しています。

共済事業

相互扶助を事業理念として、組合員・利用者に「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。生命総合共済の加入件数は2,163万件に上ります(2019年度)。

厚生事業

病院・診療所の設置や運営、組合員・地域住民への健康診断、運動・栄養指導などの保健指導、高齢者に対する医療管理を加えた介護の提供、その家族に対する介護相談などに取り組んでいます。

新聞情報事業

日本で唯一の月刊農業専門紙「日本農業新聞」の発行などにより、農家・JA役員らに役立つ情報を発信しています。また多様な媒体を通じて食と農の情報を提供しています。

出版・文化事業

JAグループの協同組合精神に基づき、出版文化活動を通じて農山漁村文化の向上に寄与しています。雑誌『家の光』『地上』『ちやぐりん』などを発行しています。

旅行事業

組合員や地域住民の余暇活動の充実に寄与するため、国内・海外の旅行・催しや農泊などさまざまな交流活動の企画提案を行っています。

数字でみるJAグループ

JA数 ▶ 584

JAどうしの合併が進み、JA数が減って大規模なJAが増えました。1県1JAのところもあります。(2020年4月1日現在)

1JA当たりの組合員数 ▶ 1万6,417人

内訳は正組合員6,647人、准組合員9,769人で合計16,417人。組合員数は増える傾向にあります(2018年度)。

JA役職員数 ▶ 21万2,424人

合併のためJA役員・職員ともに減っていますが、組合員を支えるため日々奮闘しています(2018年度)。

JA拠点数 ▶ 1万6,015カ所

本店や支店などJAは多くの事業所を保有し、組合員・地域の身近な拠点としてサービスを提供しています。(2018年度)

JAの販売事業 ▶ 4兆5,679億円

2018年度のJAの販売品の販売・取扱高は農産物・畜産物ともに前年度より増加。JAグループが日本の農畜産物の半分を取り扱っています。

JAの購買事業 ▶ 2兆5,005億円

2018年度のJAの生産・生活資材の購買品供給・取扱高は、合わせて2兆5,005億円となっています。

JA貯金 ▶ 103兆873億円

JA貯金は2017年6月末時点で100兆円を突破。マイナス金利政策が続く中で、高水準を維持し続けています。(2018年度)

JAの長期共済保有契約高 ▶ 252兆6,727億円

長期共済(共済期間5年以上の終身、養老生命、こども、医療、がんなどの各種共済)の保有契約高は252兆円に上ります。(2018年度)

JA厚生連病院数 ▶ 105病院・3万2,896床

ほかに診療所60、介護老人保健施設32、訪問看護ステーション98施設等を設置・運営しています(2020年3月末現在)。

資料：JA全中「JAファクトブック2020」、農水省「総合農協一斉調査」

注目高まる 農業・地方マーケット

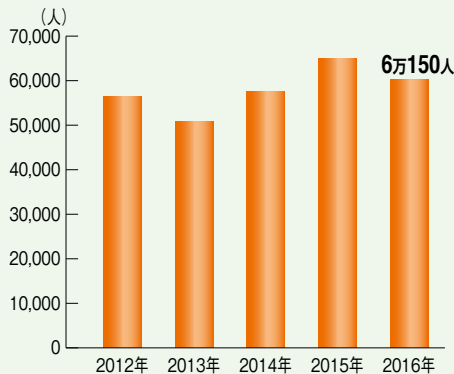
わが国の多様で豊かな食を支えているのが農業、そしてJAです。農家の高齢化が進みつつも、新規就農者の増加や農業所得の向上、農村への移住者増加など明るい話題もたくさんあります。

AIやICTといった先端技術の活用、ドローンの普及、加工や輸出など関連ビジネスも活気づいています。

■ 新規就農者数 2年連続で 6万人超え

2016年の新規就農者数は6万150人と、2年連続で6万人を超えました。特に、44歳以下の女性新規就農者は5,100人と、13年より4割近くも伸び、仕事としての農業に注目が集まっています。なお、17年の農業就業人口は181万人で、うち基幹的農業従事者は150万人です。基幹的農業従事者のうち66.4%が65歳以上で、平均年齢は66.6歳となっています。

■ 新規就農者数の推移



若手就農 高水準続く

16年 49歳以下 2万2050人

新規就農者数の推移

■ 50歳以上 ■ 40歳以下

2007 08 09 10 11 12 13 14 15 16年

「田園回帰」着々と法人雇用が後押し

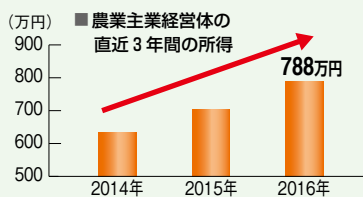
日本農業新聞2017年9月10日付

資料：農水省「新規就農者調査」「農林業センサス」「農業構造動態調査」

■ 主業経営体の総所得 788万円

日本農業新聞読者に多いと想定される農業主業経営体の年間所得は788万円で、前年比111.9%と大幅に伸びています。また全世界平均546万円の約1.4倍です（厚労省「国民生活基礎調査の概況」）。高い持ち家率、食料自給を考慮するとさらに高い可処分所得が想定されます。

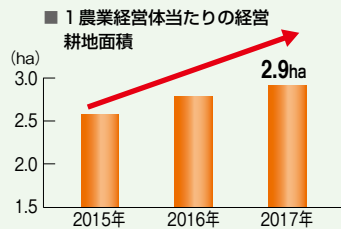
※主業経営体とは
農業所得が総所得の50%以上あり、65歳未満の農業就業者がいる経営体



資料：農水省「農業経営統計調査」

■ 1経営体当たりの経営面積 2.9ha

農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は2.9ha（北海道28.2ha、都府県2.1ha）で、2年間で約13%増えています。10ha以上の層が増加していて、1経営体当たりの農業資材の使用量増加や機械の大型化などが進んでいくことが予想されます。



資料：農水省「農業構造動態調査」

■ ドローン防除面積 8,299ha

ICT、AIやドローン、ロボットなど先端技術を活用して省力化、高品質生産などを可能にする新たな農業が脚光を浴びています。中でも薬剤散布ドローンの活用が進み、2017年度防除面積は16年度の12倍に跳ね上がり、オペレーター数も2,368人と右肩上がりです。

薬剤散布ドローン

36道県8299haで防除

17年度 水稲が8割以上

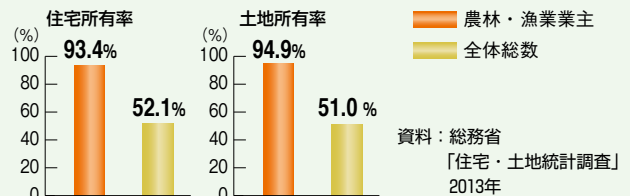
日本農業新聞2018年3月22日付

日本農業新聞2018年3月22日付

■ 住宅・土地所有率 90%超

国内の持ち家は3,217万戸で「農林・漁業業主」に絞って見ると（家計主の従業上の地位）、持ち家率は93.4%、土地所有率は94.9%です。また「現住居以外の住宅所有戸数」も、「農林・漁業業主」は1世帯当たり3.8戸で、全体の2.2戸を大きく上回って最多です。

■ 家計主の従業上の地位別住宅と土地の所有率



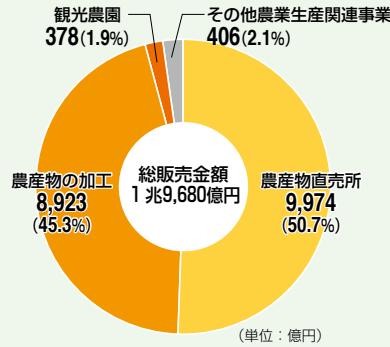
資料：総務省「住宅・土地統計調査」2013年

6次化で46万人の雇用創出

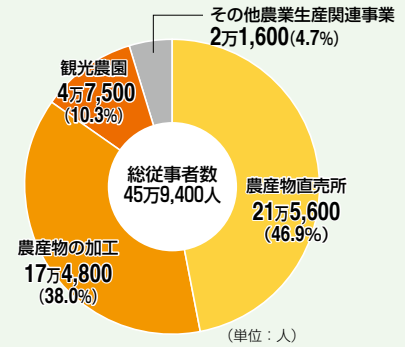
6次化（6次産業化）とは、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、所得の向上や雇用の確保を目指すことです。6次産業の総販売金額は1兆9,680億円（前年度比5.4%増）、総従事者数は45万9,400人（同4%増）となり、地方経済を支えています。

資料：農水省「6次産業化総合調査」

■ 6次産業の年間総販売金額
(全国・農業生産関連事業) 2015年度



■ 6次産業の総従事者数
(全国・農業生産関連事業) 2015年度

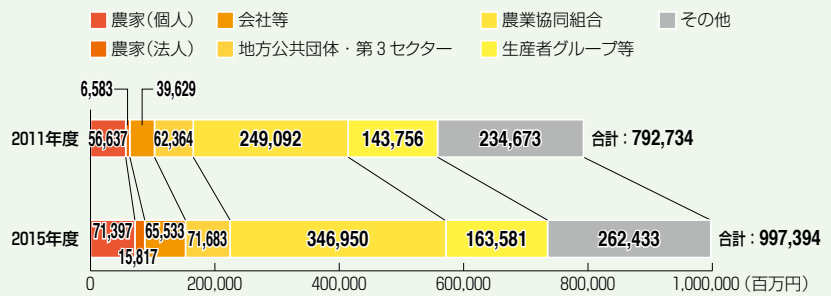


農産物直売所の売上1兆円目前

直売所は、流通コストが少なく少量でも出荷できることから小規模農家でも出荷できるとともに、消費者にとって新鮮な農産物が安定した価格で買えるメリットがあります。2015年現在、直売所は全国に2万3,590カ所（11年度比2.7%増）あり、年間9,974億円（同25.8%増）を売り上げています。

資料：農水省「6次産業化総合調査」

■ 農産物直売所販売額の推移 (運営主体別)



農村はインバウンドの受け皿

日本政府観光局によると2017年の訪日外国客数は2,869万人。農水省は訪日客を農村に呼び込むため、伝統的な食や食文化を活用する優れた地域を認定するなどして誘客を強化しています。

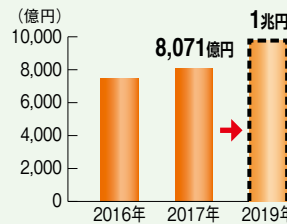


日本農業新聞2018年4月1日付

農林水産物輸出額8,071億円

2017年度の農林水産物・食品の輸出額は8,071億円と前年比7.6%増。米や牛肉、緑茶、イチゴの伸びが大きく、いずれも過去最高額を達成しました。政府は「農林水産物・食品の輸出額を19年に1兆円」という目標を掲げてさまざまな政策を講じています。

■ 農林水産物・食品の輸出額の推移



日本農業新聞2018年2月2日付
資料：農水省「輸出促進対策の概要」

オリンピックと農業

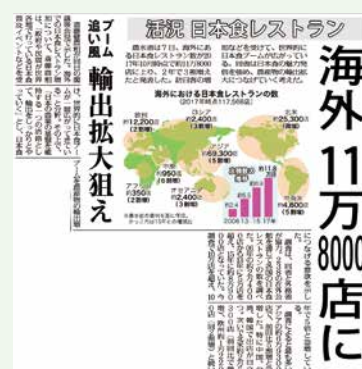
2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック。その選手村で提供する食材の調達基準として、農業生産工程管理（GAP）の認証取得が条件となっていることから産地のGAPへの関心が高まっています。政府としてもGAP認証に向けての支援を強化し、各JAなどが積極的に取り組んでいます。



日本農業新聞
2018年1月31日付

日本食レストランは世界12万店

2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、世界的に和食の人気に拍車がかかっています。日本食レストランは、2017年10月時点11万8,000店。15年の1.3倍、06年の4.9倍に増えました。



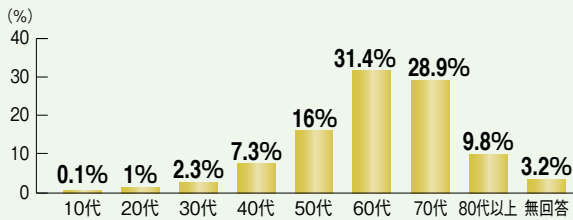
参考：JA全中
『ファクトブック2018』

日本農業新聞2017年11月8日付

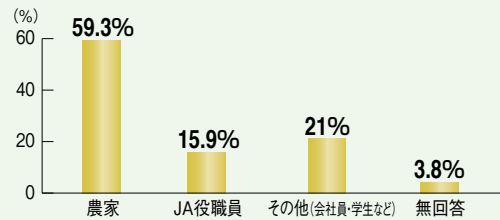
■ 読者プロフィール

日本農業新聞は、農家の50～70代を中心に読まれています。
女性・子ども向けのページもあり、農業に従事する家族みんなに触れる回読率の高いメディアです。

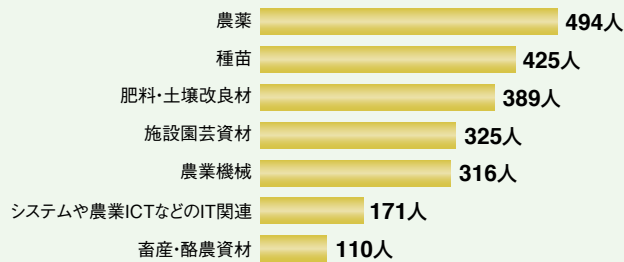
■ 読者の年齢層



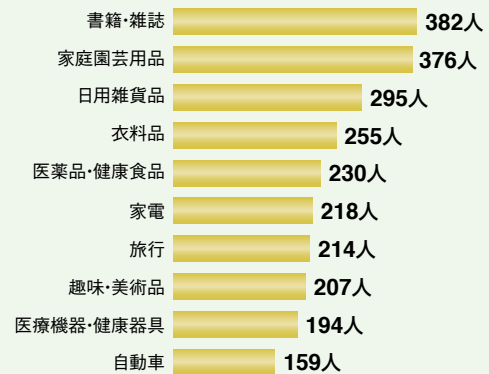
■ 読者の職業



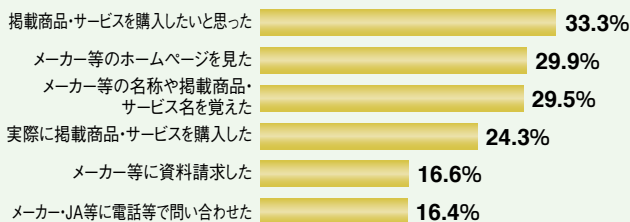
■ 農業生産関連で関心のある広告情報 (複数回答)



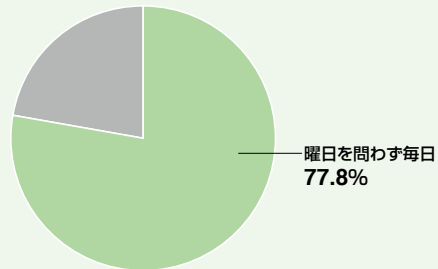
■ 生活関連で関心のある広告情報 (複数回答)



■ 日本農業新聞の広告を見て起こした行動 (複数回答)



■ 曜日別の閲読率



日本農業新聞「読者モニター調査」2020年 (回答者886人)

■ 広告スペースと掲載料金

■ 全国エリア

面	枠	左右×天地 (mm)	モノクロ (税別)	カラー (税別)
全面広告	全15段	378×511	3,225,000円	4,125,000円
記事下	全5段	378×168	1,075,000円	1,375,000円
	全3段	378×100	645,000円	—
	5段1/2	188×168	537,500円	—
〃	3段1/2	188×100	322,500円	—
1面	題字横	74×32	110,000円	165,000円
	突出し	51×65	131,000円	196,500円
記事中	市況中	50×52	127,000円	—
		50×25	53,000円	—
		43×32	44,000円	—

■ ブロック版

(北海道、東北、関東、信越、東海、近畿北陸、中国四国、九州)

枠	モノクロ (税別)
全5段	418,200円

※1ブロックあたり

■ 県版

枠	モノクロ (税別)
全5段	209,100円

※1県あたり

※上記は営業ものの料金です。臨時ものは料金が異なります。また別途付加料金がかかる場合があります。
※全5段のカラー料金はカラー紙面の場合です。
モノクロ紙面でカラー広告を掲載する場合、カラー料金は段数にかかわらず900,000円(税別)追加とします。
他の枠でカラー掲載をご希望の場合は別途ご相談ください。
※原稿制作費は別途になります。

■新聞広告 掲載事例

日刊の農業の専門紙という特性を持っているため、ターゲットを絞り込んだタイムリーな訴求ができます。本紙の「広告」は読者の情報源として高い注目を集めています。

■農業・生産資材

[バイエル クロップサイエンス] 全15段カラー

新登場

センチュウ防除にこれいいね。

ビーラム
粒剤

殺線虫剤

- 新発有効成分の新・殺線虫剤です。
- 各センチュウ類に対して優れた効果を発揮し、収量や品質の向上が期待できます。
- 臭いが少なく扱いやすい粒剤です。

バイエル クロップサイエンス株式会社

[タキイ種苗] 全15段カラー

ゴッホが描けなかったひまわり。

サンリッチひまわり
SUNRICH

http://www.takii.co.jp

[BASFジャパン] 全5段カラー

多様な作物に確実な効果

シンナム WDG

BASF

[中原採種場] 全5段カラー

ブラックキング

ブラックサマー

中原採種場

[セラク] 全5段モノクロ

GAP認証の取得

『みどりノート』が解決します。

03-6851-4832

[サタケ] 全5段モノクロ

サタケなら、収穫後のすべてが揃う。

乾燥 粉摺 光選 石抜 計量 精米 製粉

0120-084-056

日本農業新聞公式サイトは、紙面に載った記事の中から1日10本ほど掲載。毎月100万PVと農業関係のWebメディアの世界でも有数のページビューがあります。記事はYahoo!ニュースにも配信していて、同サイト経由でのアクセスも多くあります。

メディア概要



【広告掲載例】



月間PV数 = 100万515
 会員数 = 7万4,888人

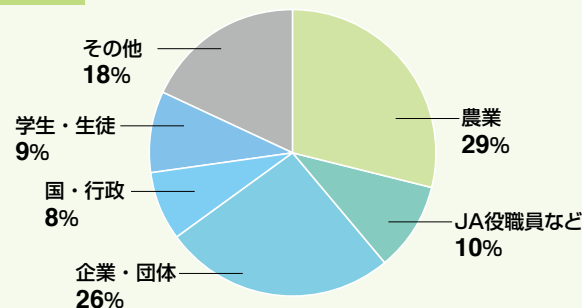
- 月間PVは2020年1~11月の平均値。
- Google Analyticsで計測。
- 会員数は2020年1月末現在。

ユーザープロフィール

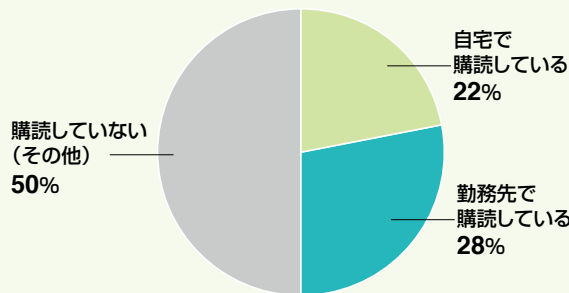
※2020年1月末の登録会員のデータから算出。

登録会員の約半数が農業・JA関係者。エンドユーザーへ直接商品の訴求ができます。また約半数が本紙購読者であり、「新聞広告+ネット広告」のクロス展開で接触率が高まります。

職業



「日本農業新聞」の購読状況



広告スペース・料金 (2020年度)

(税別)

商品名	表示方法	枠数	左右×天地 (ピクセル)	想定掲載量 (imp/枠)	表示単価 (1枠)	月額料金 (1枠)
トップレクタングル	ローテーション	5	300×250	100,000	1.57円	156,600円
サイドバナー-A	貼り付け	1	320×100	500,000	0.34円	171,000円
サイドバナー-B	貼り付け	1	320×50	500,000	0.17円	87,000円
中央カラムテキスト	貼り付け	最大3	全角36字以内	500,000	0.13円	69,000円

- 想定掲載量・月額料金は「掲載1カ月・1枠あたり」のものです。想定掲載量は目安です。
- 「PCのみ」「スマホのみ」の掲載指定はできません。
- 「会社概要」「購読のお申し込み」「広告ガイド」等の弊社情報ページは除きます。
- 「トップレクタングル」は、最大5社のローテーションとなります。
- 枠や料金は変更することがあります。

※詳細は、別途広告ガイドをご覧ください。

広告メニュー3 フレ マルシエ

地産地消の拠点JAファーマーズマーケット（直売所）で配布するフリーマガジン。
 著名人へのインタビューや季節に合った特集・レシピなど、多様なコンテンツを掲載しています。

メディア概要



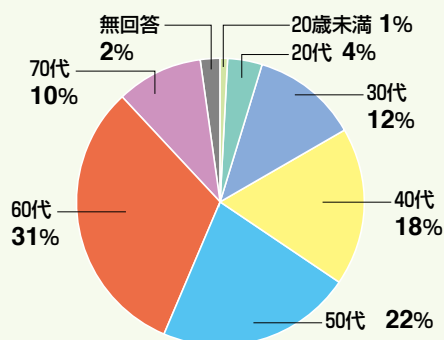
ターゲット：食に関心の高い30～60代の女性（主婦）
 発行部数：約25万部
 発行回数：年4回（5、8、10、1月）
 配布エリア：全国のJA直売所 約700店舗（レジやラックに設置）
 判型：B5判／基本16ページ／カラー



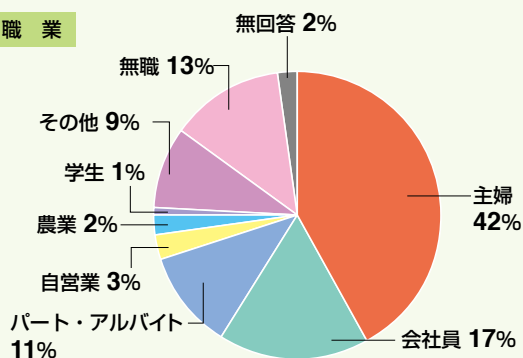
読者プロフィール ※フレ マルシエ (vol.32～35) 読者プレゼント応募者のデータ

読者の8割が女性で、幅広い年代に読まれています。

年齢層



職業



広告スペース・料金

(税別)

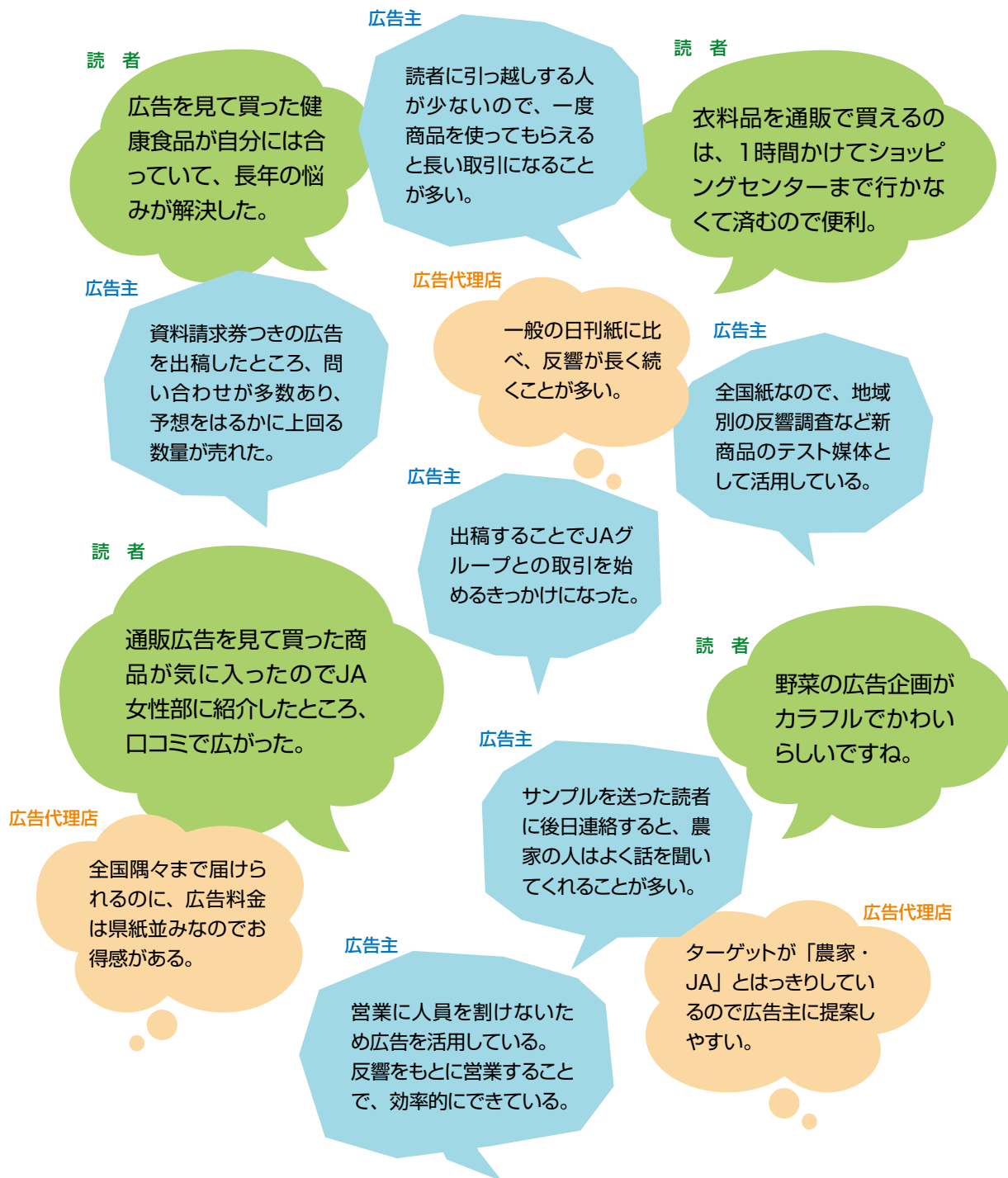
掲載面	スペース	サイズ 天地×左右 (mm)	掲載料金
裏表紙	全ページ	257×177	1,500,000円
中面	全ページ	257×182	1,300,000円
//	全2段	111×158	650,000円
//	全1段	52×158	325,000円
//	半1段	52×77	162,500円
//	エントツ4段	232×37	400,000円
//	エントツ2段	111×37	200,000円

- 広告枠はすべてカラーです。上記料金はカラー料を含んでいます。
- 上記以外の特殊スペース広告、編集タイアップ広告などについてもご相談させていただきます。

※詳細は、別途メディアガイドをご覧ください。

読者・広告主・広告代理店の声

日本農業新聞の広告について、読者や広告主・広告代理店の皆さまから寄せられた声の一部をご紹介します。



※2017年度の読者相談室への広告関連問い合わせの6割は「商品の購入先についての問い合わせ」でした。

日本農業新聞の「広告」についてのお問い合わせに際しては
下記のシートをご活用の上、お気軽にご連絡ください。

日本農業新聞 「広告」ナビゲートシート



ファクス 03-6281-5852



koukoku@agrinews.co.jp

ご記入日	年	月	日
------	---	---	---

会社・団体名			
住 所			
ご 担 当 部 署			
お 名 前			
電 話	— —	FAX	— —
Email	@		

広 告 内 容	(商品・サービスなど具体的に記入ください)
掲 載 希 望 時 期	年 月
掲 載 希 望 媒 体	<input type="checkbox"/> 日本農業新聞 (新聞広告) <input type="checkbox"/> 日本農業新聞 Web (バナー広告) <input type="checkbox"/> JA直売所情報誌『フレ マルシェ』 <input type="checkbox"/> その他 ()
掲 載 希 望 エ リ ア	(新聞以外の媒体はエリア選択はできません) <input type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> その他
ご 予 算	万円程度
そ の 他	(ご質問・ご要望などございましたらお気軽にお問い合わせください)

- *本用紙は広告申込書ではありません。
- *お客様からいただく個人情報は、お問い合わせ・ご質問への回答、今後の情報ご提供のために使用させていただきます。
- *お問い合わせの内容によっては、電子メール以外の方法で回答を差し上げる場合がございます。
- *ご回答までに日数を要する場合や、ご質問によってはお応えできかねる場合もございます。あらかじめご了承ください。

《 日本農業新聞 広告部 TEL 03-6281-5810 FAX 03-6281-5852 》



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

加入団体

一般社団法人 日本新聞協会
東京写真記者協会
一般社団法人 日本ABC協会
公益社団法人 日本広告審査機構 (JARO)
公益社団法人 全日本広告連盟
公益社団法人 東京広告協会
公益社団法人 ACジャパン
公益財団法人 広告審査協会
公益社団法人 日本マーケティング協会
国際協同組合同盟 (ICA)
一般社団法人 日本協同組合連携機構 (JCA)
IYC記念全国協議会

株式会社 日本農業新聞

日本農業新聞公式サイト <https://www.agrinews.co.jp>

★本所	〒110-8722	東京都台東区秋葉原2-3	TEL.03-6281-5810 (広告)	FAX.03-6281-5852
★北海道支所	〒060-0004	札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル	TEL.011-231-3668	FAX.011-231-3991
東北支所	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-2-16 JAビル	TEL.022-264-8680	FAX.022-264-0951
東京支所	〒102-8409	東京都千代田区一番町23-3	TEL.03-6281-5814	FAX.03-6281-5855
中部支所	〒460-0003	名古屋市中区錦3-3-8 JAあいちビル西館	TEL.052-971-2020	FAX.052-971-2024
★大阪支所	〒530-0047	大阪市北区西天満1-2-5 JAビル	TEL.06-6314-0025	FAX.06-6367-9562
中国四国支所	〒730-0011	広島市中区基町13-13 広島基町NSビル7F	TEL.082-511-8231	FAX.082-211-2181
九州支所	〒810-0001	福岡市中央区天神4-6-7 天神クリスタルビル	TEL.092-761-6355	FAX.092-781-3818
支局・駐在	信越支局 (長野) ・四国支局 (松山) ・新潟駐在			

広告についてのお問い合わせは★印の各広告担当にお願いします。